



経済産業省「AKATSUKIプロジェクト」“山口 未来変革デジタル人材発掘・育成プログラム”： 地域の未踏的な地方の若手人材発掘育成支援事業の実施報告

うべ環境コミュニティー 副理事長 小柴満美子

山口 未来変革デジタル人材発掘・育成プログラムは、山口県のICT開発に関わる未踏的な社会課題の解決を導く人材発掘を目的としたプロジェクトを補助事業として採択され、令和6年9月から令和7年2月まで実施致しました。人財育成イベントでよく活用される、ハッカソンという、ものづくりの支援講義+創成演習と発表により、地域の若者と産学官民が一体となり創成力のある地域発展を目指す次世代の育成を試みました。

山口大学を母体に総務省情報通信機構の横山輝明氏、山口県光市起業育成事業の石川博之氏、山口大学医工開発連携コンソシアム企画運営者の西田周泰氏の力を結集することができ、県内中の若者のうち、山口大学工学部・教育学部・経済学部、宇部工業高等専門学校、徳山工業高等専門学校および社会人(15~39歳)の18名9チームの精鋭が集い出力をやり遂げました。

毎月一回の進捗発表と講義・演習では、県内中を広く知り、作品づくりに生かす育成環境を調整するため、山口県セミナーパークを皮切りに、うべスタートアップや産学連携促進を目指す山口大学常盤キャンパスの志イノベーション道場などや、オンラインにより、宇部市、山口県の協力のもと、全国の地域起業家・起業促進を志高く共にして下さった企業のみなさま(宇部情報システム、ジャネックス、新光産業、アクト・スリー、ポージャー、YMFGZONEプランニング、エムビーエスなど)が、

発展中の若者のみなさんに、のびのびと活躍ができる示唆や環境づくりを支えて下さいました。このような市民社会連携によるものづくり人財育成のエネルギーの集約が地域活性化を奮い立たせてくれた同事業は、各地域で前人未到のイノベーションを切り開く突出したIT技術やアイデアを有する人材を発掘・育成し、新たな価値創造を実現することで、日本全体としてのイノベーションエコシステム(産官学組織が相互に協働、競争を続け、イノベーションを誘発するように働くシステム)を形成し、その確かな実績が、クリエイターのみならず全参加者に宿る姿をみることができました。



(<https://yamaguchi-henkaku.jp/>)

特に日本の他地域に比べ、人間のウェルビーイングを促す、ここに寄り添うICT課題の多さが特長で、各自の社会課題を解決するIT活用試作と検証を、プロジェクト修了後も地域連帯により発展が続けられるように、みなさまと相互育成を目指したいと思います。以上、UKCの代表理事を拝任する一名として、これからも微力を尽くしていきたいと思ひます。

集え、
若者たちよ。

山口 未来変革デジタル人材発掘・育成プロジェクト



図1.宇部市若者ら
(歌野暉竜氏、
神代春花氏、
甲斐大駆志氏)による
同事業紹介ポスター



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 J R宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分

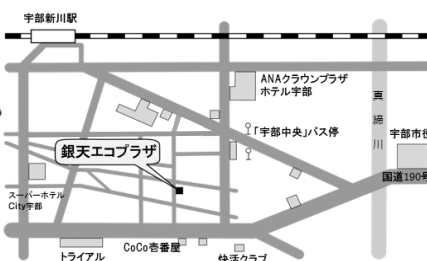
宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時~17時 HPアドレス <http://ubekuru.com/>

休館日 土・日、年末年始(12月29日~1月3日)



HomePage



facebook



x



NPO法人うべ環境コミュニティー

アロマテラピーで取り組むSDGs

(株) グリーンフレグランス 枘田久美子

私の仕事に深く関わるアロマテラピーは、植物に含まれる香り成分の精油を利用した自然療法です。



そして、SDGsが掲げている目標を達成するためにさまざまな形で貢献しています。アロマテラピーの最大の特徴は、嗅覚を介して脳に働きかけることです。

例えば、ラベンダー精油を嗅ぐことで自律神経が整い、心の不安を取り除く作用があります。

私は、高齢者施設で高齢者の下肢や頭部をラベンダーの香りで施術させて頂くことがあります。

介護福祉士さんの記録によると、施術を受けた方の多くは夜の眠りが深いそうです。

子どもたちに対しては「香育」という取り組みがあります。



精油の香り体験を通して、豊かな感性や柔軟な発想力を育むことで、人と植物の関わり、自然環境の大切さを伝えています。

余談ですが、5月19日はロゴ合わせで「香育の日」と認定されています。

また、全国各地域で町おこしになっているのが、地元の植物で精油を製造する事業です。

私は旅先で、その地域で製造された精油を見つけると購入するようにしています。

山口県にも精油を製造している地域があります。

萩市川上地区は、かつて柚子栽培が盛んでしたが、現在では



柚子の木がそのままになっている中、柚子の果皮から精油を抽出する活動がおこなわれるようになりました。

これらは、SDGsが掲げている目標の「3. すべての人に健康と福祉を」「4. 質の高い教育をみんなに」「15. 陸の豊かさを守ろう」という項目に当てはまる内容です。

精油は、植物が生きていくために生産している芳香物質です。

これからも植物の恩恵に感謝し、サステナブルな社会作りやSDGsの目標達成のために取り組む意識を持ちたいと思います。

宇部市環境学習ポータルサイト

「うべっくる」の課題

うべ環境コミュニティー 理事 浮田正夫

2024年度のうべっくる利用状況の概要は表示回数 33,703、アクティブユーザー数15,563であった。利用対象としては、うべっくるブログが表示回数の2/3強、ユーザーの3/4を占めた。また銀天エコプラザ通信の表示回数は1%弱だが、利用時間は1分11秒と長かった。

学習館の発信について、詳しく見てみると、ブログ投稿数は75件(前年度100件以下同様)と比べると低下している。アクセス数は17,730(33,521)、1件当たりのアクセス数は240で、これも昨年度の335件と比較してかなり低下した。フェイスブック投稿数93件(125件)、リーチ数12,050(20,561)、投稿1件あたりのアクセス数は135(164)であった。エックス投稿数102件(120件)、アクセス数13,964(14,512)、投稿1件あたり137(121)であった。このように全般に投稿活動が前年度より低調に推移し、エックスを除いて投稿1件当たりのアクセス数も低下した。

うべっくるブログ、フェイスブック、エックスの発信状況

	2023年度		2024年度		
	投稿数	1件当たりアクセス	投稿数	1件当たりアクセス	エンゲージメント率%
ブログ	100	335	74	240	
フェイスブック	125	164	93	135	13.5
エックス	120	121	102	137	2.8

ただフェイスブックのエンゲージメント率は13.5%と比較すると、エックスは2.8%と非常に低い。

関心度の高い投稿としては、ブログ、フェイスブック、エックスとも、以下のように概ね共通している傾向もある。内容の充実したもの、身近な話題、参加者が多いイベント、社会問題として注目されていること、有名人の注目される動向、など。

3種類の情報発信のうちエックスが10~20代、フェイスブックが30代以上というイメージで発信してきたが、エックスの場合はその記事を見て、ブログに移るなどのエンゲージメント率は年々低下の傾向にあると感じている。情報発信手段も若い人達の感覚を生かしたものにする必要があると思われ、Instagramの活用も考えた方がいいかもしれない。

また、若い方々を含めて、より多くの人に情報発信に関わってもらい、我々の活動に興味を持ってもらい、発信内容の多様性を高めていくことが重要である。